



校長室の窓

じぶん ま

あなたは、自分に負けていませんか？

以前、広島市にある神崎小学校という小学校の校長先生から神崎読本「人生の道標」という本をいただきました。この本は神崎小学校の子どもたち全員に配られ、子どもたちが自分自身を見つめ直すことに使われているとのことでした。

その「人生の道標」の中に「神崎っ子の誓い」というのが載っていましたので、紹介します。

神崎っ子の誓い

みんなを笑顔にするために

- 1 自分に負けては なりません。
- 2 嘘をついては なりません。
- 3 いじめをしては なりません。
- 4 卑怯ではあっては なりません。
- 5 不作法ではあっては なりません。
- 6 父母を愛し、年上を敬い、先生を尊ばなければなりません。



私も笑顔になるために

誓いの最初と最後にある「みんなを笑顔にするために」と「私も笑顔になるために」がとてもいいなと思いました。人は、人のために生きてこそ、人となり、人としての幸せ、喜び、安らぎ、そして、生きがいを味わうことができるようになるということです。

「神崎っ子の誓い」の六か条は、決して特別なことではなく、いずれも昔から大切にされてきた人としての「道」です。中でも、一番初めにある「自分に負けてはなりません。」は、6つの誓いの中で最も大切なものだと思います。

人は誰でも、人として行うべき「道」や大切な決まりごとがあることは知っています。しかし、知っている、理解しているということと、それを実行できるかということは別問題です。「やってはいけないと分かっていたけれど、少しだけなら、とか、誰も見ていないから、ついやってしまった。」「やった方がよいとは分かっていたけれど、恥ずかしくてできなかった」という経験はありませんか。

そのような心の状態を「自分に負ける」という言い方で表しているのです。「自分に負けないで、してはならないことは絶対にしない。しなければならないことは必ずする。自分自身をしっかりとコントロールする。」ことが自分の心を成長させてくれるのです。

福栄小中学校がめざしている「ひたむきな児童生徒」「ぬくもりのある児童生徒」「さわやかな児童生徒」になるためには、「自分に負けては なりません。」

福栄小 中学校を「山口県一美しい学校」にするためには、一人ひとりが「自分に負けては なりません。」

みんなを笑顔にするために、そして、自分も笑顔になるために。